

2019年度 東区組織目標

組織名	東区	区長	堀内 貞子
組織の目的・方向性	人口減少や少子・超高齢社会への対応を最重要課題と捉え、地域コミュニティ協議会や区自治協議会のほか地元の企業や大学なども含めた地域の皆さんと連携・協働して、区職員が一丸となって、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の特色を生かした魅力づくりに取り組むことで、人もまちも元気で笑顔あふれる東区を目指します。		

東区組織目標

東区では、区ビジョンまちづくり計画で掲げた区の将来像の実現を目指して、これまで重点的に進めてきた「安心安全なまちづくり」、「支え合い助け合うまちづくり」、「魅力あふれるまちづくり」に向けた様々な取り組みを引き続き実施していきます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の醸成を図ります。
- 2 高齢者が安心して生活できるように支援し、「地域包括ケアシステムの構築」に向けて取り組みを推進します。
- 3 子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。
- 4 市内有数の企業が集まる「産業のまち東区」を広くPRするとともに、産業を活用したまちづくりを進めます。
- 5 歴史・文化の普及啓発、活用を通じて、地域の誇りづくりや活性化を進めます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<p>1 防災出前講座を49団体に対して実施し、防災基礎知識や災害時の心構えなどを説明することで、日頃からの備えの重要性を伝えるなど防災意識の向上を図りました。</p> <p>2 対象の全世帯へ訪問を実施し、高齢者の生活実態把握とニーズ調査を行い、状況に応じて適切なサービスへ繋げることができました。また、「地域包括ケアシステムの構築」に向けて、2地域において「住民主体の訪問型生活支援」を開始するための支援を行いました。</p> <p>3 子育ての不安感・孤立感解消のため、子育て支援講座等を開催しました。昨年度に引き続き、休日の開催による父親の参加促進と遊びの場や子育てプログラムの提供を行いました。</p>				

	<p>4 「産業のまち東区」のPRでは、工場見学を含めた「工場夜景バスツアー」を回数を増やして実施したほか、東区産業・観光フォトコンテストの開催やスペシャルサイトでの区内企業の情報発信など、東区の産業の魅力を広く発信しました。</p> <p>5 歴史・文化の普及啓発・活用では、まち歩きなどを通じて、滯足柵や牡丹山諏訪神社古墳などの歴史を発信し、地域の誇りづくりに繋げるとともに、区役所庁舎等での文化事業を行うことで、賑わいの創出に取り組みました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 区民に対する防災意識の啓発は重要であることから、引き続き防災出前講座を実施し、防災意識の醸成に努めていきます。</p> <p>2 高齢者見守り訪問を引き続き実施するほか、「地域包括ケアシステム構築」に向けて新たに「住民主体の訪問型生活支援」に取り組む地域の支援を強化します。</p> <p>3 妊娠期からの子育講座の開催や父親の育児参加促進を図ることで、さらなる子育ての不安感や孤立感の解消と児童虐待防止に取り組みます。</p> <p>4 「東区工場夜景バスツアー」を拡充して実施するなど、より広く東区の産業の魅力を発信していきます。</p> <p>5 東区の歴史を巡るまち歩きのさらなる充実や文化事業等を通じて、地域の誇りづくりや賑わいづくりに取り組むとともに、自然環境の保全や活用による魅力づくりにも取り組んでいきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-250-2710
------------	--------------

年度	2019		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	区民や地域の団体との連携により、区民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進するとともに、東区のほぼ中央に位置し、様々な施設や商業テナントが入る複合庁舎である区役所が、いっそう区民から親しんでいただけるような事業を展開していきます。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
1	1	地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の醸成を図ります。	・防災出前講座の開催 ・自主防災組織等の活動支援 ・避難所運営体制の強化 ・啓発事業	防災出前講座の開催	29自治会で実施	31自治会等で実施	40自治会等で実施	35自治会等で実施	49自治会等で実施	区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・自主防災組織へのチラシ送付や窓口対応で制度についての周知を図ったことで、目標回数以上の実施となりました。 近年、大規模な自然災害が相次ぎ、防災意識も高まっていることから、日頃からの備えの大切さを伝え、さらなる防災意識の向上を図りました。	達成
2		東警察と地域団体及び区役所との連携の構築を図ります。	・関係機関の情報連絡会 ・安心安全広報啓発コーナー	高齢者を対象とした交通事故・特殊詐欺被害未然防止広報の実施		会議1回開催	会議2回開催	広報区内3カ所	医療機関14カ所 市政情報モニター2回	特色ある区づくり事業	・「東区高齢者対策安全安心連絡会」において、高齢者の交通事故や特殊詐欺被害の未然防止啓発を実施しました。また、区内の全自治会・町内会への啓発協力をお願いしました。	達成
3		東区役所での「にぎわい」の創出を促進します。	・南口エントランスホール活用事業 ・市の事業によるパネル展や展示会など	南口エントランスホールの活用日数(日)	162	230	295	250	292	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画) ・物販、イベント、パネル展示等の活用日数	・一般利用のほか市や区の事業PRによるパネル展示もあり、活用日数は当初の目標を大きく上回りました。	達成
4		区職員の研修により、市民満足度の高いサービス提供を推進します。	・区独自の職員研修の実施	異動者研修 メンタルヘルス研修 救命講習 接遇研修等の実施	異動1回 メンタル2回 救命1回 接遇1回 プレゼンテーション1回	異動1回 メンタル2回 救命1回 接遇1回 対応困難ケース研修1回	異動1回 メンタル2回 救命1回 交通安全研修1回	区独自研修5回 (異動研修、メンタル研修、救命研修、サービス向上研修を予定)	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修1回 交通安全研修1回	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	市民満足度の高いサービスを目指して様々な研修を実施したほか、制度変更される会計年度任用職員制度について、丁寧に担当職員への説明会を実施し、混乱なくスムーズに制度移行していくことで、サービスの質の維持に努めました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
地域防災力の向上のため、自治会やコミュニティ協議会等において「防災出前講座」を開催し、地域の特性や防災基礎知識を学んでもらい、災害時の円滑な避難行動に結びつけていきます。また、親子向け防災イベントを開催し、災害を想定した体験や防災グッズの作成など、楽しく学びながら防災知識の習得につなげていきます。 高齢者が関係する交通事故や特殊詐欺などの被害が多発していることから、これら課題解決に向けて適切な情報発信を考案することを目的に東区高齢者対策安全安心連絡会を警察署・福祉関係機関・地域団体等と協働して開催し、安全で安心して暮らせる東区を目指していきます。 また、区役所における賑わいづくりとして南口エントランスホールの活用事業を引き続き実施し、地域の多様な活動の場とするほか、市や区の事業紹介としてパネル展を開催するなど利用促進を図ります。 人材育成の面では、東区サービス向上委員会の活用や区独自の職員研修の実施により、情報共有しながら組織の連携強化を図って、市民に満足されるサービスを提供できる職員を育成します。	コミ協や自治会などを対象とした防災出前講座を開催し、目標以上の回数を実施しました。このことで、防災基礎意識や日頃からの備えについてより多くの市民が学び、防災意識の向上を図ることができました。この啓発事業を継続することで、防災意識の普及が図られることから、引き続き実施していきます。 区役所や警察、関係機関で構成する「東区高齢者対策安全安心連絡会」において、高齢者が関係する交通事故や特殊詐欺被害からの未然防止に向けた啓発活動を行いました。今後も、効果的な啓発手法を検討し、活動につなげていきます。 区役所での賑わいづくりとして、南口エントランスホールにおいて物販や展示会等の様々な活動が行われました。また、市や区の事業紹介としてのパネル展を開催するなど、事業PRの場としても庁舎の活用を図りました。今後も引き続きエントランスホールを活用し、賑わいづくりに努めていきます。 職員の人材育成では、市民満足度の高いサービスを目指して様々な研修を実施しました。今後も区独自の職員研修を通じて、情報共有や組織の連携強化を図り、より一層のサービス向上に努めていきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-250-2380
------------	--------------

年度	2019		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	地域の人々とのふれあいや支え合いのなかで、健康で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、区民、団体、事業者、区社会福祉協議会など、地域全体と協働で地域福祉の推進に取り組みます。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
1	2	高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援するとともに「地域包括ケアシステムの構築」に向けて取り組みを推進します。	・高齢者の生活実態把握とニーズ調査の実施 ・支え合いのしくみづくりの深化	東区全域での高齢者世帯への訪問調査の実施	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	・訪問対象世帯 75歳以上で介護認定を受けていない、一人暮らしを含む高齢者のみの世帯 ・特色のある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・民生委員に協力いただき、すべての対象世帯を訪問した結果、二次訪問が必要と判断した世帯について、保健師等が177世帯を訪問し、状況に応じて介護保険申請13件、介護予防(総合事業)申請11件など、適切なサービスに繋がりました。	達成
				住民主体の訪問型生活支援を実施した地域	-	-	-	2	2	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・1層、2層推進員と連携のもと、東区内の12圏域の2層協議体のうち2地域で、住民主体の訪問型生活支援が開始となりました。	達成
				東区支え合いのしくみづくり会議情報交換会の開催(回)	-	-	3	3	4	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・東区1層協議体を2回開催し、区として取り組むべき課題について検討しました。また、2層協議体の情報交換会を2回開催し、情報共有を図りました。	達成
2		健康寿命の延伸を目指し運動習慣の定着を図り、健康づくりを推進します。	・地域で取り組む健康長寿の推進	健康づくり・介護予防講演会(回)	3	4	3	3	3	・特色のある区づくり事業 健康寿命延伸に向けた普及啓発のため、生活習慣病や介護予防などの講演会を実施	・糖尿病や介護予防をテーマとした講演会を実施し、延べ464人が参加しました。	達成
				自主活動リーダー研修会(回)	-	17	20	20	20	・運動普及推進委員、食生活改善推進委員、ウォーキング自主グループ、介護予防自主グループに対してリーダー育成研修を実施 ・特色のある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・運動普及推進委員、食生活改善推進委員、ウォーキング自主グループ、介護予防自主グループに対してリーダー育成研修を実施し、延べ354人が参加しました。	達成
3	3	子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。	・「い〜てらす」及び「わいわいひろば」での子育て支援講座の開催	主な子育て支援講座の開催(回)	182	204	90	90	91	・H29までは全ての実施事業数を掲載 ・H30からは区として重点的に取り組む事業数に変更 ・特色のある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・父親が参加できる講座を増やし、男性の子育て参加促進に努めました。	達成
4		児童虐待に対する確で迅速な対応と虐待を未然に防ぐために、関係機関と連携し虐待が起こる前にも情報共有を行います。	・児童虐待防止にかかわる関係機関との情報の共有化	区内小中学校への訪問(回)	-	-	-	60	69		・定期的に学校との情報交換を行うことで、照会や相談をしやすい関係性が出来ています。	達成
5		継続的に業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	・各係、各グループで、業務や窓口等における継続的な業務改善を実施します。	・改善実践報告の件数(件)	-	-	-	15	18	・各係、各グループ3件以上の取組	・継続的に効率的・効果的な業務や窓口改善に取り組み、事務の効率化と市民サービスの向上に努めました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>超高齢社会が進展しているなか、住み慣れた地域でいつまでも元気で健康に暮らし続けられるよう、高齢者の生活実態把握とニーズ調査、支援に取り組みます。また、「地域包括ケアシステムの構築」に向け、各コミ協が新たに住民主体の訪問型生活支援などを開始できるよう支え合いのしくみづくり推進員と連携を図りながら取り組んでいきます。</p> <p>区民の健康寿命延伸に向け、自主的に健康づくりや介護予防に取り組んでいるグループを地域のリーダーとして育成し、地域の方々が身近な場所健康づくりや介護予防に取り組める環境の整備に取り組みます。</p> <p>子育て支援事業は、「い〜てらす」や「わいわいひろば」において、子育て支援講座を開催するなど親同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に向け取り組みます。児童虐待については、発生予防・早期発見・早期対応に、関係機関と連携して取り組みます。</p> <p>窓口サービスにおける市民満足度の更なる向上を目指し、継続的な業務改善に取り組み、効率的・効果的な市民サービスを行います。</p>	<p>高齢者の生活実態把握とニーズ調査は、対象の全世帯への訪問を実施し、状況に応じて適切なサービスへ繋げることができました。また、引き続き、支え合いのしくみづくり会議情報交換会を開催し、各コミ協の取組が円滑に進められるよう進捗状況の確認や情報共有を図りながら支援を行った結果、先行する地域の事例を参考に、住民主体の訪問型生活支援の検討をする地域も出てきています。今後も引き続き、地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援してまいります。</p> <p>健康寿命延伸のため、生活習慣病や介護予防などの講演会を実施したほか、運推や食推、ウォーキング自主グループ、介護予防自主グループに対してリーダー育成研修会を実施しました。今後も、健康寿命延伸に向けた取り組みを継続してまいります。</p> <p>子育て支援事業は、「い〜てらす」や「わいわいひろば」における講座等を開催を通して、育児の不安感や孤独感の解消に向けて取り組みました。児童虐待については、関係機関と連携して発生予防や迅速な情報共有、対応に努めました。今後も関係機関と情報共有し未然防止と適切な対応のため連携を強化してまいります。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-250-2110
------------	--------------

年度	2019		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	地域のコミュニティ活動を支援し、区民との協働によるまちづくりを進めます。また、東区の活性化に向けて地域課題の解決に取組むとともに区内の産業、文化、スポーツ等の振興に努めます。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部長 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標			2019結果	補足・参考指標
1	4	市内有数の企業が集まる「産業のまち東区」を広くPRするとともに、産業を活用したまちづくりを進めます。	・東区の産業・観光にぎわいプロジェクトの実施	工場夜景バスツアーの実施	4	2	3	4	4	・区内産業関連施設の見学を含めた工場夜景バスツアーを4回実施	・区内の製紙工場や印刷工場などの工場見学を含めた工場夜景バスツアーを前年度から1回増やし4回実施しました。	達成
2	5	歴史・文化の普及啓発、活用を通じて、地域の誇りづくりや活性化を進めます。	・東区歴史浪漫プロジェクトの実施 ・県立大学等と連携した東区まんなか文化プロジェクトの実施	歴史浪漫プロジェクトでの「新潟シティガイド」と連携したまち歩き(回数)	1	1	2	ガイド向け講座の実施 まち歩き2回	ガイド向け講座の実施 まち歩き3回		・新潟シティガイドを対象とした歴史講座を実施したうえで、新潟シティガイドと連携したまち歩きを2回実施しました。このほか写真撮影とアルバム作成を取り入れたまち歩きを1回実施しました。	達成
				東区プラザや区役所庁舎での文化事業の実施(事業数)	3	3	3	3	3		・文化事業は、市民劇団「座・未来」公演や県立大学との連携事業、バレンタインふれあいコンサートなどを実施しました。	
3		住民自治推進の核となるコミュニティ協議会の活動活性化を促進し、住民と行政の協働によるまちづくりを実践していきます。	・コミュニティ協議会ごとに区政懇談会の開催 ・コミュニティ協議会等の活動を支援するための各種研修会を開催	区政懇談会の満足度	-	-	-	70%	79%	・区内12のコミュニティ協議会で年1回実施(区政懇談会終了後に、コミュニティ協議会に対しアンケートを実施)	・区政懇談会終了後のアンケートでは、79%が「とても有意義」または「やや有意義」であったという回答でした。	達成
				コミ協等を対象とした研修会の開催	-	2	2	2	2	・コミュニティ協議会やコミュニティ施設を管理運営する団体を対象とした各種研修会や意見交換会の開催	・コミュニティ協議会等を対象とした研修として、コミュニティ施設の指定管理者へ税理士、社会保険労務士を派遣して訪問指導を行うとともに、施設の管理運営の問題点を解決するため、管理人の意見交換会を実施しました。	
4		区バスをはじめとする区内の公共交通について更なる利用促進を図ります。	・区バスの運行	区バス年間利用者数(人)	・河渡ルート 51,443人 ・松崎ルート 46,534人	・河渡ルート 53,564人 ・松崎ルート 51,953人	・河渡ルート 51,841人 ・松崎ルート 53,712人	・河渡ルート 52,000人 ・松崎ルート 54,000人	・河渡ルート 49,801人 ・松崎ルート 53,036人	H30年度実績に基づき設定	・ポケット時刻表の全戸配布を行うなど、区バスの利用促進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月の利用者数が減少したため、目標達成には至りませんでした。	未達成
5		東区に関する様々な情報や魅力をSNSなどさまざまなメディアを通じて、多くの区民に提供します。	・Facebookを中心に、さまざまなメディアを活用した情報発信を強化します。	ぬたりんFacebookへの投稿数	220	246	240	240	252	H30年度実績に基づき設定 ぬたりんFacebookやTwitterを活用し、迅速に情報を発信します。	・東区に関する様々な情報について、適切なタイミングで適切なコンテンツを提供することに努め、目標以上にFacebookへの投稿を行いました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>東区の産業・観光にぎわいプロジェクトでは、スペシャルサイトを活用した企業情報の発信や東区産業・観光フォトコンテストを実施するほか、工場夜景をはじめとした産業関連施設をめぐるバスツアーを継続実施し、区の魅力創出、交流人口の拡大を図ります。</p> <p>東区歴史浪漫プロジェクトでは、淳足柵や牡丹山諏訪神社古墳、北国街道などの地域の歴史について、継続して普及啓発していくとともに、新潟シティガイドと連携したまち歩き等を実施します。ガイド向け講座を実施するとともに、区の歴史を活用したまち歩きを新潟シティガイドと協働で実施することで、東区の歴史や魅力を広く発信していきます。</p> <p>まんなか文化プロジェクトでは、イベントを通じて地域の活性化やにぎわいづくりに繋がります。</p> <p>区民の皆様と区政懇談会を通じて意見交換を行い、区民との協働によるまちづくりに取り組んでいきます。また、協働の要となるコミュニティ協議会向けに研修会を行い、運営基盤の強化に努めます。</p> <p>区バスについては、河渡ルート、松崎ルートの利用促進に努めていくほか、東区自治協議会とも協力しながら、東区の公共交通の課題について調査研究し、課題解決の方策について検討していきます。</p> <p>情報や魅力の発信では、FacebookなどのSNSを有効活用することにより、情報発信力の強化を図ります。</p>	<p>東区の産業・観光にぎわいプロジェクトについては、東区産業・観光フォトコンテストとして176作品の応募があったほか、スペシャルサイトを活用して企業情報を2件発信しました。また、工場夜景バスツアーでは、申し込み倍率は5.8倍と高く、参加者アンケート結果でも99.3%が満足という結果でした。来年度は工場夜景バスツアーの実施回数を増やすとともに、フォトコンテストの作品を活用したPRを実施することで、より広く区の産業の魅力を発信していきます。</p> <p>歴史浪漫プロジェクトについては、まち歩きの参加者アンケート結果が94.2%が満足(良かった)という結果であったことから、来年度も、新潟シティガイドと連携したまち歩きを実施していくとともに、淳足柵や牡丹山諏訪神社古墳、北国街道などの地域の歴史について継続して普及啓発し、地域の誇りづくりに繋げていきます。</p> <p>まんなか文化プロジェクトについては、市民劇団「座・未来」公演は参加者アンケート結果でも100%が満足という結果となっており、バレンタインふれあいコンサートは申し込み倍率2.0倍、参加者アンケートでも96.0%が満足という結果であったことから、来年度も引き続き、地域の活性化やにぎわいづくりに繋がるよう取り組んでいきます。</p> <p>区政懇談会については、参加コミ協、自治会役員等の79%が有意義であったという回答であったことから、引き続き、地域の意向を踏まえながら、意見交換の機会を設けることで、区民との協働によるまちづくりを進めていきます。</p> <p>区バスについては、河渡ルート、松崎ルートの利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したため、目標達成には至りませんでした。今後は、令和元年度に改定した「東区生活交通改善プラン」に基づき、東区自治協議会とも協働しながら、更なる公共交通の利用促進に努めていきます。</p> <p>情報や魅力の発信については、Facebook、区だより、区ホームページ、スペシャルサイトなどを通じたタイムリーな情報発信に努めてきました。引き続き、必要な情報を適切な手段、方法で届けられるよう取り組んでいきます。</p>